**組織人数**
**5,131人（6月末）**

熱中症に気を付けながら仕事や現場などでお会いする方に声掛けを行いましょう。

# 建労いわて 月刊号

発行所
岩手県建設労働組合連合会
教宣部
盛岡市本宮一丁目７番２７号
電話　０１９－６３１－３２８０
ＦＡＸ　０１９－６３５－４０１５
発行者　藤井泰男

## 街宣行動

# 増税反対を訴える
## 県南地域三ヶ所で演説

6月13日（月）、岩手県連では、全建総連の宣伝車で、盛岡市から一関市まで「増税反対、民主的な税制を求める地元街宣行動」を行いました。

本部の税金対策部より小俣書記。県連からは齋藤会長、高橋副会長、賃金税金対策部から3名（黒澤、高橋【健】、廣野）、書記1名（鈴木）の合計7名が参加しました。

当日はあいにくの雨でしたが、県連事務所を出発し、国道4号線を走り一関まで街宣を行いました。

北上で高橋対策部員を乗車させた後、金ケ崎町のイオンスーパーセンター前の国道脇の広場で、1回目の演説を行いました。

信号待ちで停車する車や通過する車に向けて、齋藤会長と小俣書記から増税8%後後の日本経済と私達の暮らしに与えた影響を説明し、増税の反対を訴えました。

昼食後、水沢で廣野対策部員を乗車させて一関まで向かいました。その途中、イオン前沢の駐車場前広場において2回目の演説を行いました。

車から降りてお店に入る方や車に乗車する方々に向けて訴えると、中には立ち止まって聞いて頂いた方もいました。

その後、一関で高橋副会長と合流し、市内を街宣して回った後、イオン一関の駐車場前広場において最後の演説を行いました。

齋藤会長から「消費税が8%に増税したことによって、私達の生活と暮らしが厳しくなりました。消費税がさらに10%に引き上げられると消費も落ち込み、さらに景気が悪くなるのではないでしょうか。みなさん増税には反対しましょう」と訴えました。

続いて小俣書記からは「消費税の増税が延期になりましたが、これは単なる先延ばしに過ぎません。消費税増税を止めるような抜本的な動きが必要です。みなさん一緒に増税に反対の声をあげましょう」と話されました。

最後に高橋副会長と部員3名からそれぞれ、増税反対に向けた強い訴えと呼びかけがあり、演説は終了しました。

演説終了後、一関駅で小俣書記と宣伝車と別れ、県連参加者も解散し盛岡から一関までの街宣行動は終了しました。

今後も建設従事者とその家族だけではなく、国民の生活と暮らしを守る為に、岩手県連としても消費税増税反対の運動を続けていきます。

【県連　鈴木（章）記】

買い物に来ている方々に強く訴えかける

増税反対を訴える全建総連小俣書記

## お知らせ
### 機関紙について

来月の「建労いわて」は、月刊号ではなく４面刷りの「建労いわて増刊号」を発行します。

### 写真募集

これからの季節は旅行や外出が増えます。そんな時は、ふとした瞬間の写真を県連にご投稿下さい。よろしくお願いします。

## きずな

家族ぐるみの活動を主にしている「全国主婦交流集会」が盛岡市繋にある「ホテル森の風」で6月16日～17日、北は北海道、南は長崎から175名が参加して開催された。

岩手県連から江刺、北上、水沢、宮古、盛岡より参加があり、会長の高橋悦子（北上）が副実行委員長、石川喜代（水沢）が分科会座長、佐藤てい子（宮古）は分科会報告など大役を務めた。特に佐藤氏の報告は、詳細にまとめられていて大変良かった。

夕食の懇親会では、岩手の「あじゃら節」徳島の「阿波踊り」の共演で、盛会であった。

最後に「花は咲く」を合唱して東日本、熊本の被災者に対して激励を送った。

分科会では「母体組合で運動に参加しながら、仕事と暮らしを支えていく為、家族の健康管理、毎日の生活の厳しさを実感している。『お茶っこ会』で意見交換をして、活動に繋げている」と語られた。

中央情勢報告では「消費税の再延期により、建設国保に対する補助金が、減額される動きがある」と話があった。

今後も今以上にハガキ要請と国会議員への要請が必要である。

【県連会長　齋藤 徳重】